

ふたなり × レズ × 魔法少女!? ハートフルアダルトストーリー!!!

みんなに希望を注ぎ込む! 魔法少女にいなちゃん見参!

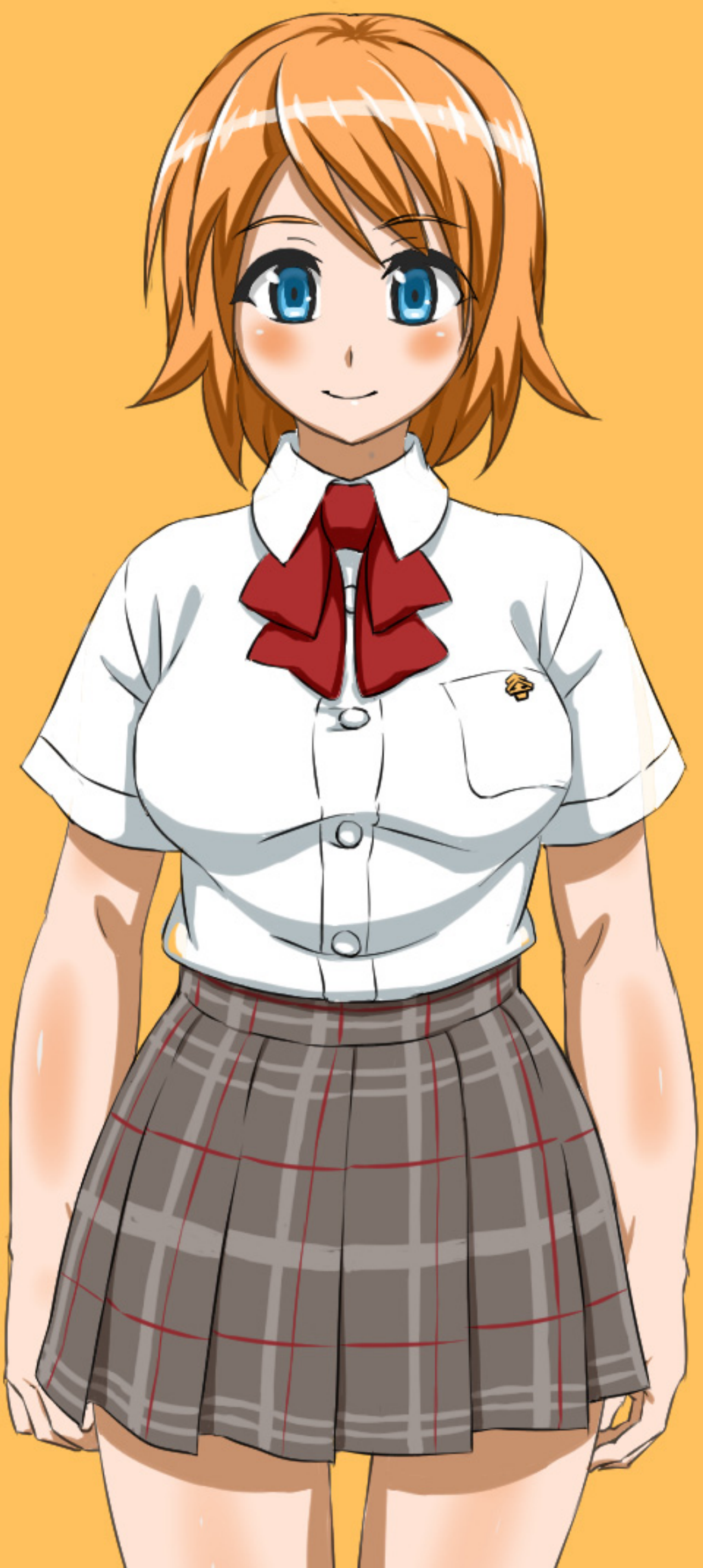
79才去少女  
スキッシュ♡にいな



〜前回までのあらすじ〜

私の名前は小名川新菜（おながわにいな）  
元気いっぱいのお校二年生だよっ！

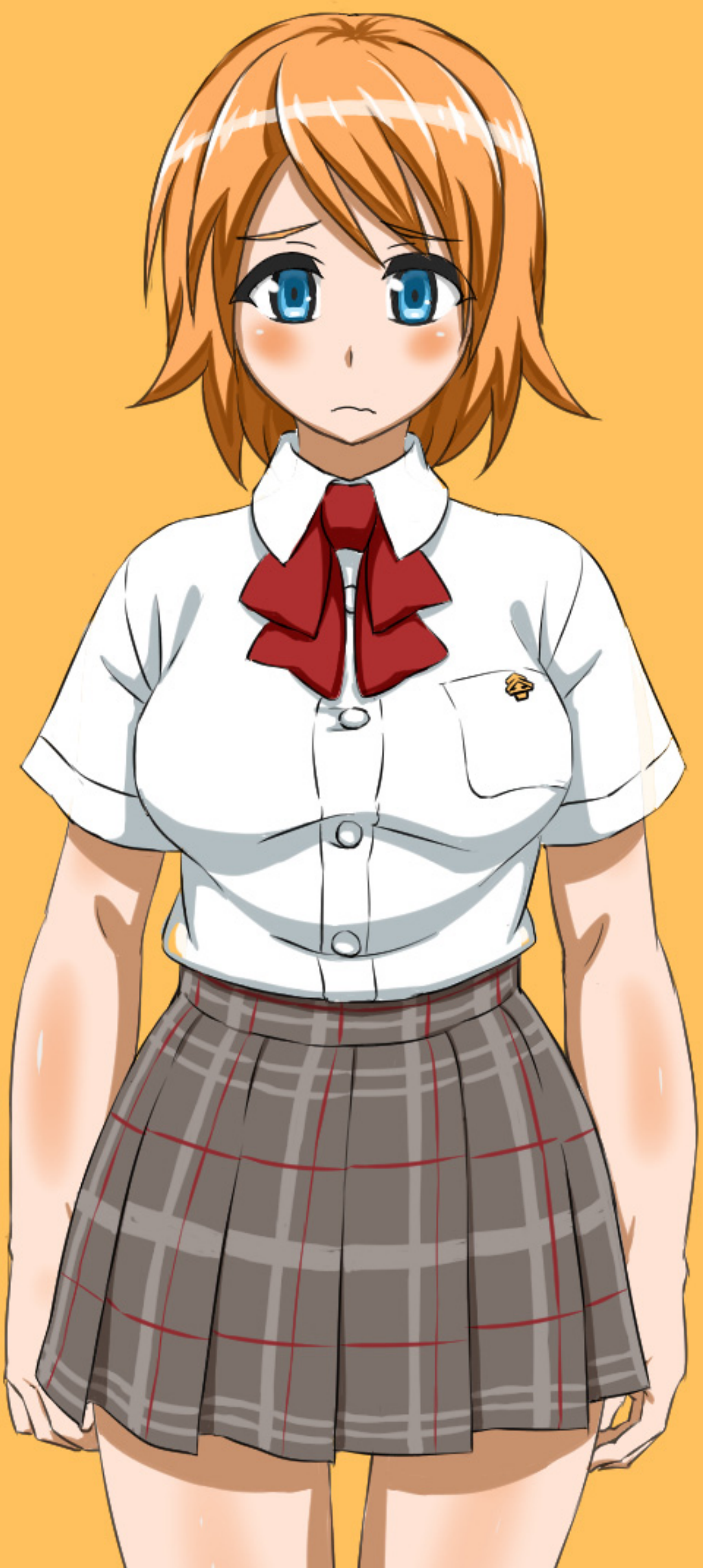
今日、学校で授業受けてる途中、お股に変な感じがしたの



## 〜前回までのあらすじ〜

そしたら何故かお股がどんどん気持ちよくなってきた！  
我慢しようと思ったけど気持ちよさがどんどん強くなってきちゃって  
授業に全然集中できないよお…

もう無理！…っておもったから、先生に調子悪いって言って早退したの…



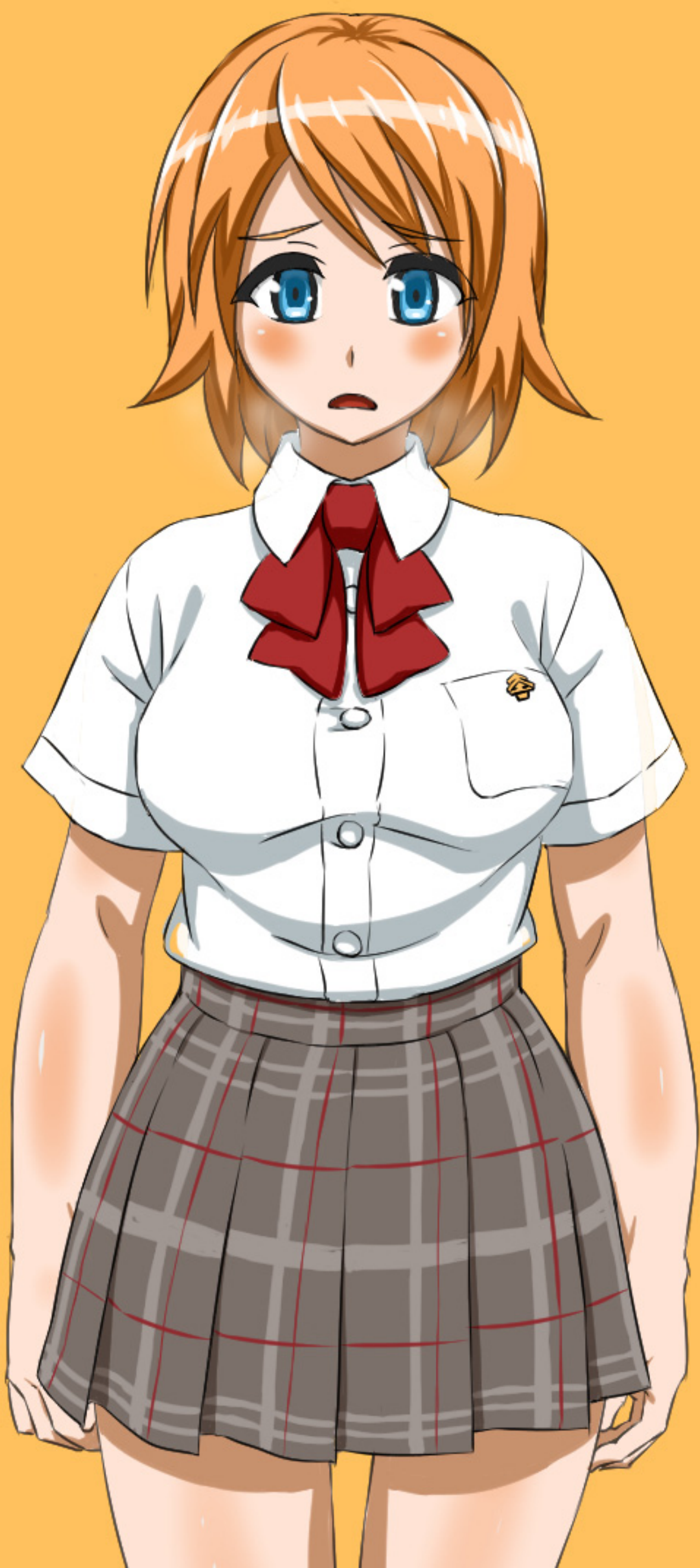
〜前回までのあらすじ〜

帰り道もお股の疼きが止まらなくて

家に帰るまでですっごく時間がかかったよ…

ベットに座って、ぐちよぐちよになってる

パンティをずらしたらびっくりしちゃった…



「ええー…なにこれえー…」  
「これっておちんちんだよね…」  
あんまりよく知らないけど…なんで私に…



「はあ…はあ…ああん…おちんちん」  
はああ…このたまらない感じ…  
おちんちんからでてるのかなあ…

ちよつと触ってみよ…

「…はあん♡…なにこれえ…!」  
ちよつと触れただけなのに…すぐく気持ちいい…♡

「はああ…これすごいよお…」  
おちんちんすっごく硬あい…  
もっとなさわってみよお…



「んっ…はあ…ふう…ふう…♡」

ああん♡いいよお…きもちいいよお…♡  
もっど…もっどお♡

おちんちんもっど手ぐずぐずじじいしてみよお♡

「ああん♡はあ…すごいよお…♡  
おちんちん♡おちんちん♡」

ああんすごいいい…♡なんかふわふわってへんなかんじい…♡  
んうう…♡じじいするの…止まんないよお…♡

ビクッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡









どぴゅう…どぴゅう…

「はあ…♥はあ♥はあはあ…」

この液体…すぐくねばねばして…なんだかエッチなニオイ…

は

は

どぴゅう

どぴゅう

どぴゅう

どぴゅう

どぴゅう

どぴゅう

「それは希望の源だよ…」

「声…が…した…!?!」

「誰…!?!」

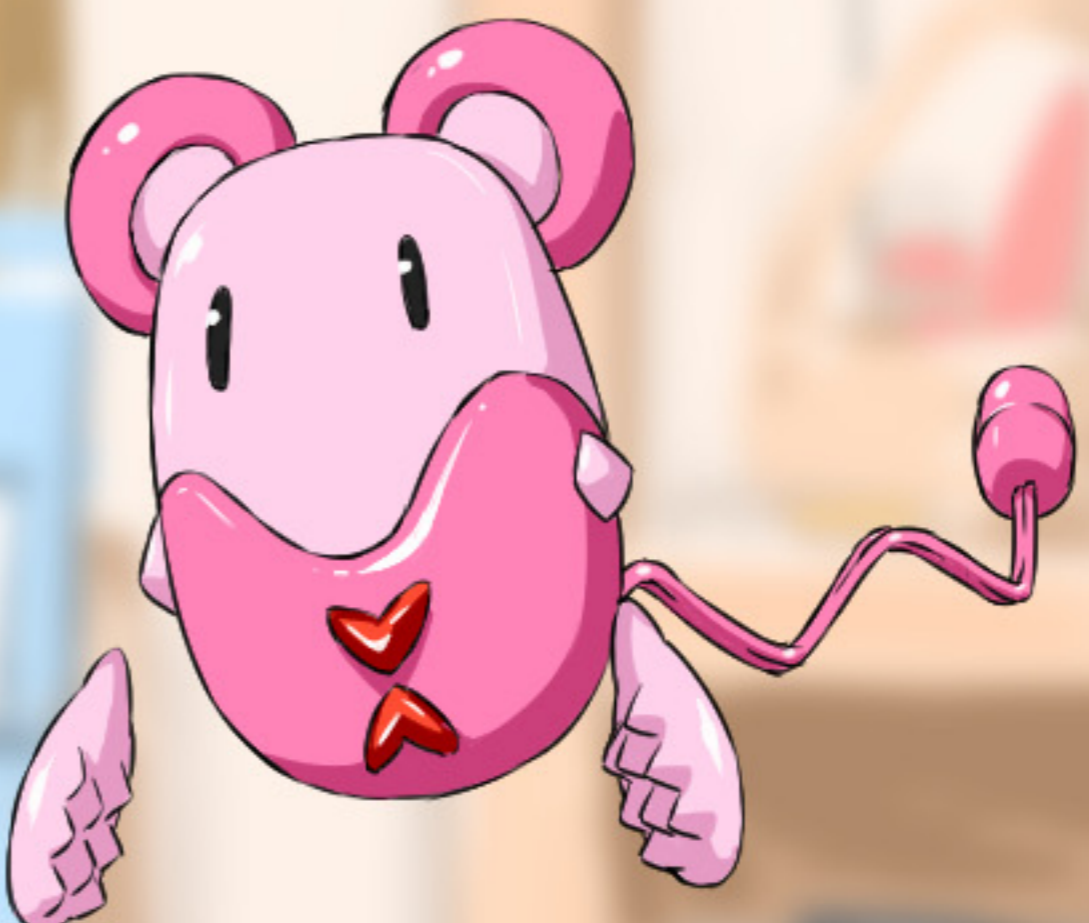
どぴゅう

「えっあなた…何？」

「ボクの名前はトプー

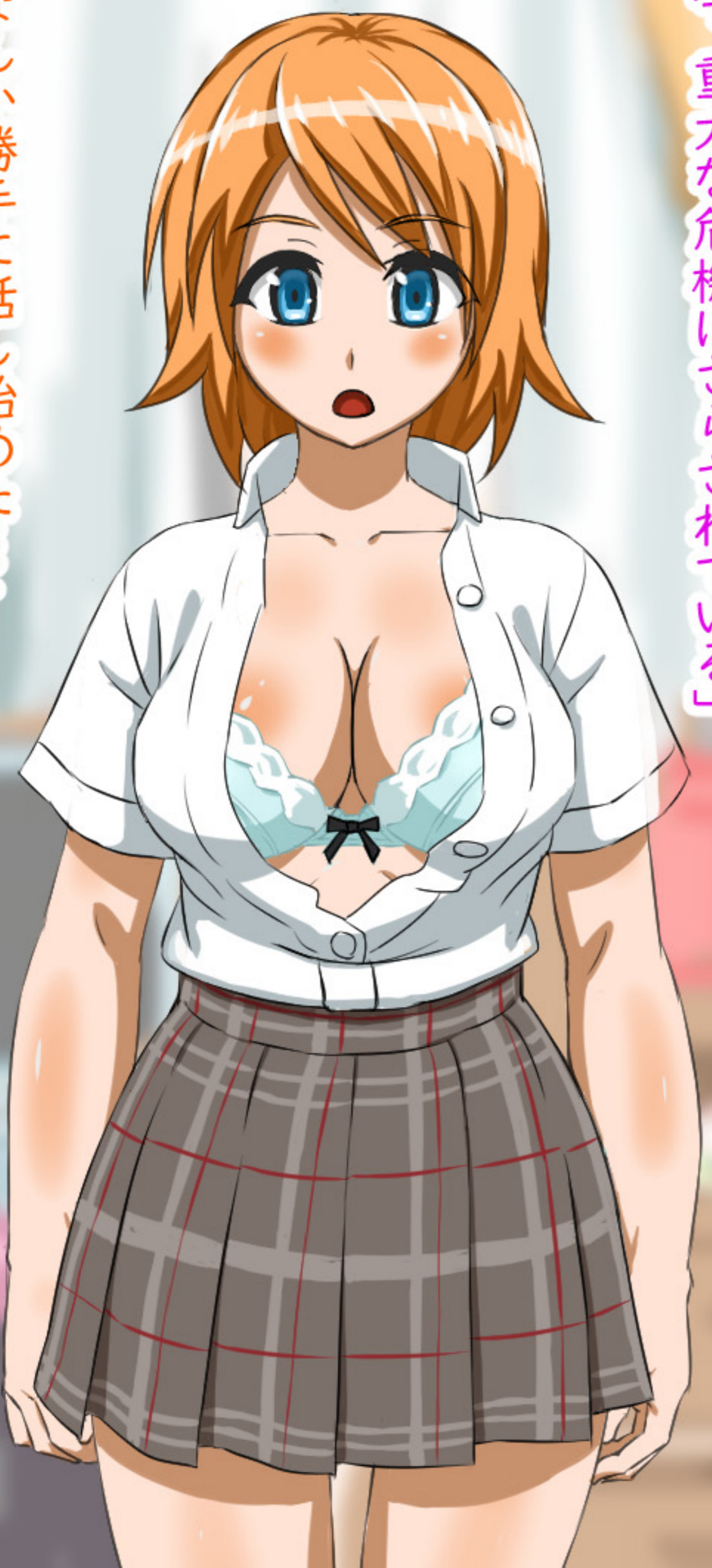
新奈、君は選ばれたんだ。魔法少女にね」

「魔法少女?!」



「いきなりのこととで信じられないと思うけど  
冷静に聞いてほしい」

「いいかい？君たちが暮らす世界は  
今、重大な危機にさらされている」



「なんか勝手に話し始めた…」

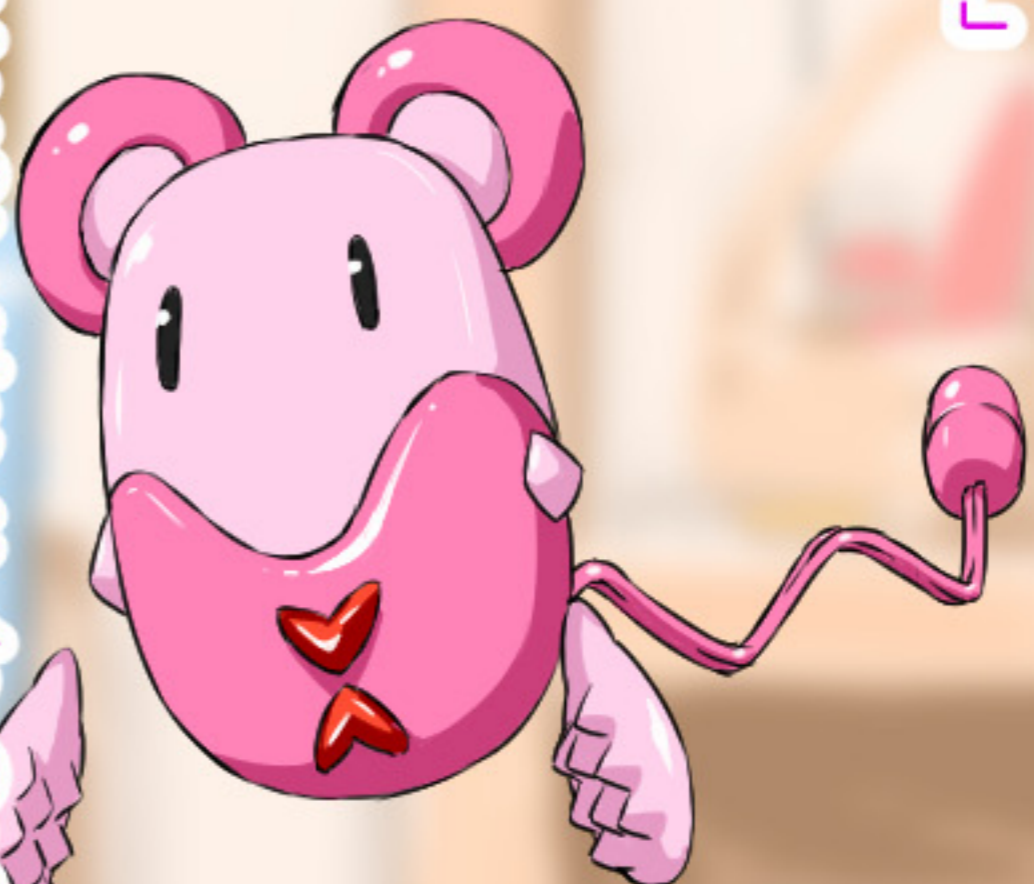
「…それにおちんちんがなくなってる!?!」

「…まあそれについても説明するから話を聞いてほしい」

「それで世界の危機がどうしたの？」

「…重大な事だからよく聞いてね？」

現代の社会には様々な問題点がある。  
過労や少子高齢化、隣国との緊張関係など  
挙げればきりが無い。」



「そしてそれらの問題によって生じた人々のストレスが  
穢れとなって世界に蓄積されているんだ。」

「蓄積された穢れは世界を蝕み、

やがて大厄災を引き起こす。」

「えっなんか急に話が大きくなった…」

「…まあとにかくそういうものなんだよ…」

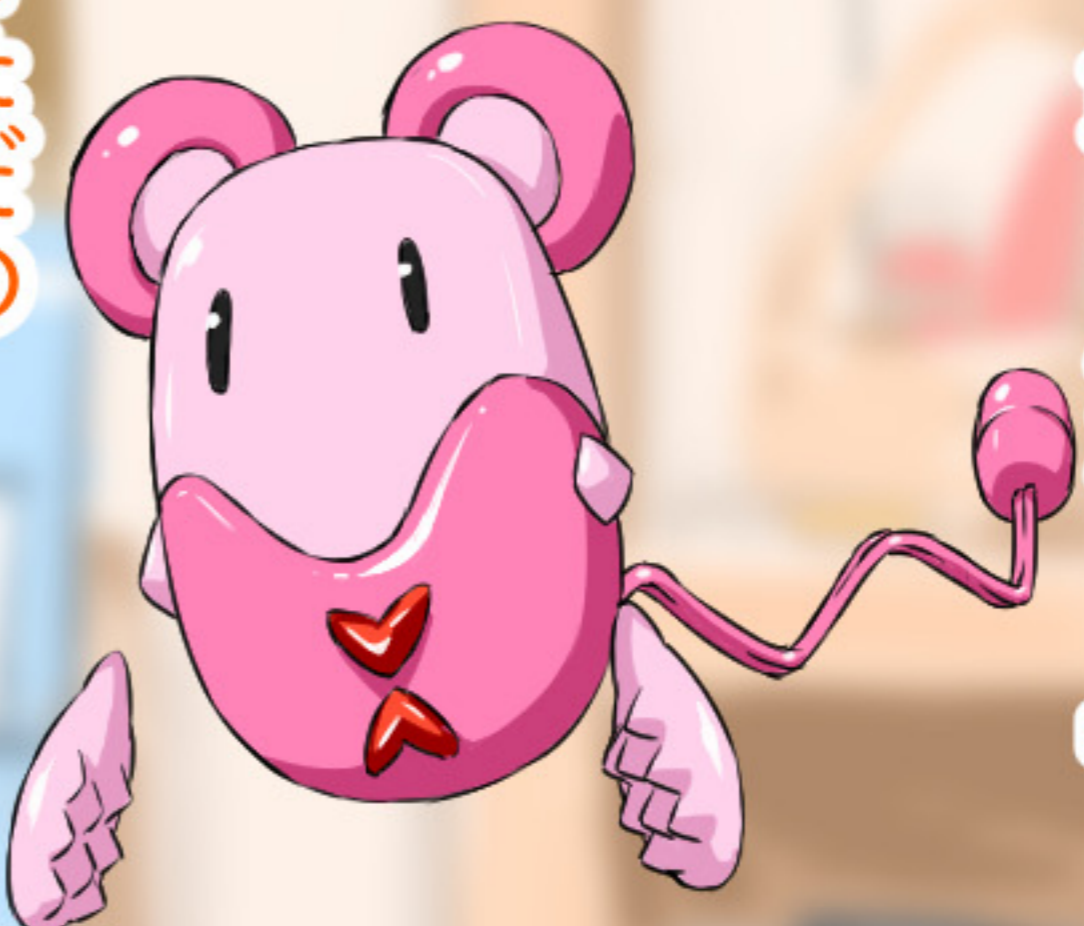


「だから穢れをためないように人々のストレスを  
発散してあげる必要があるんだ」

「そこで君の出番というわけさ！」

「え…？…いったい何をさせるつもりなの…？？」

「君がストレスをため込んだ人の元へ行行って穢れ…  
つまり精液を搾り取るんだー!!」



「ええー!それってただの  
水商売じゃない!!やだよ!」

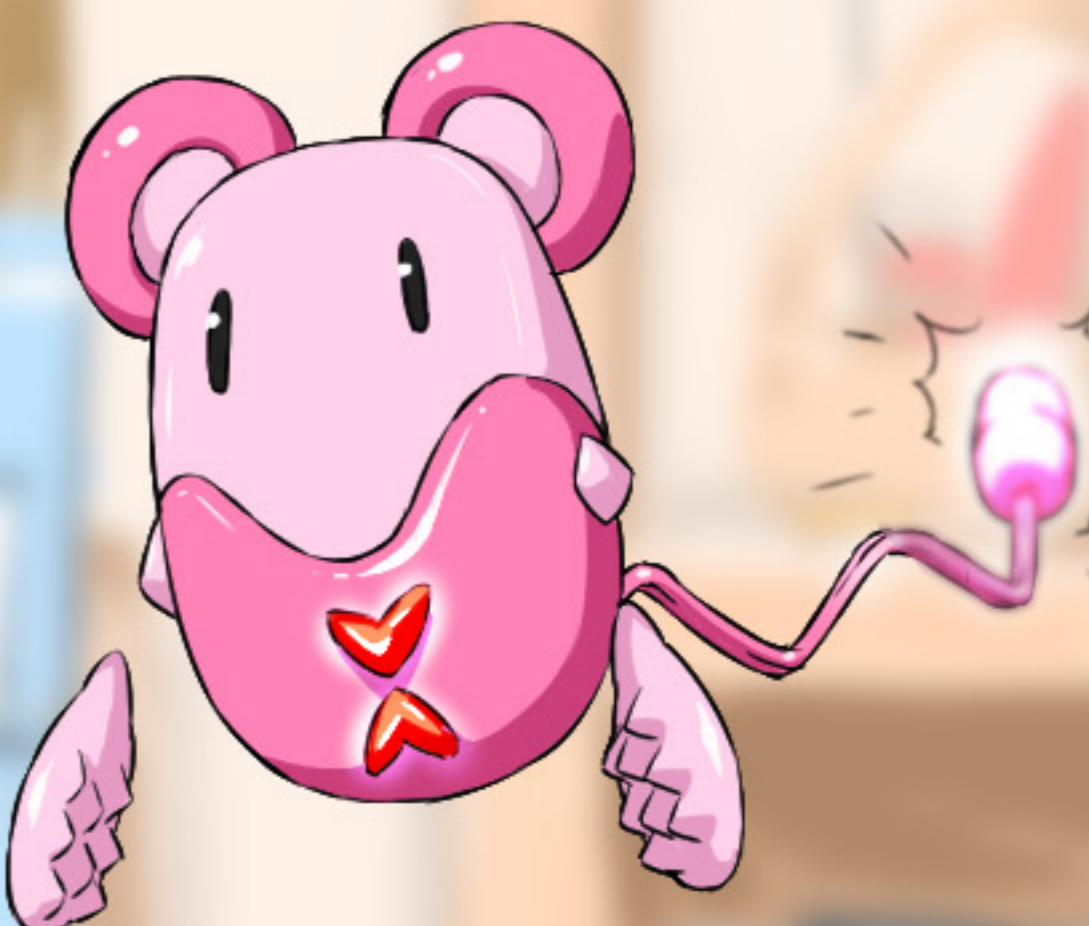
「そして穢れを搾り取った後は、君の精液、つまり  
希望の源を相手に注ぎ込むのを忘れずにね!」



「聞いてないし!わたしそんなのやらないぞー!!」

ジュンジュン……ジュンジュン……!

「あ！僕のレーダーが反応してる！  
どうやら近くにストレスを  
ため込んでいる人がいるようだぞおー!!」

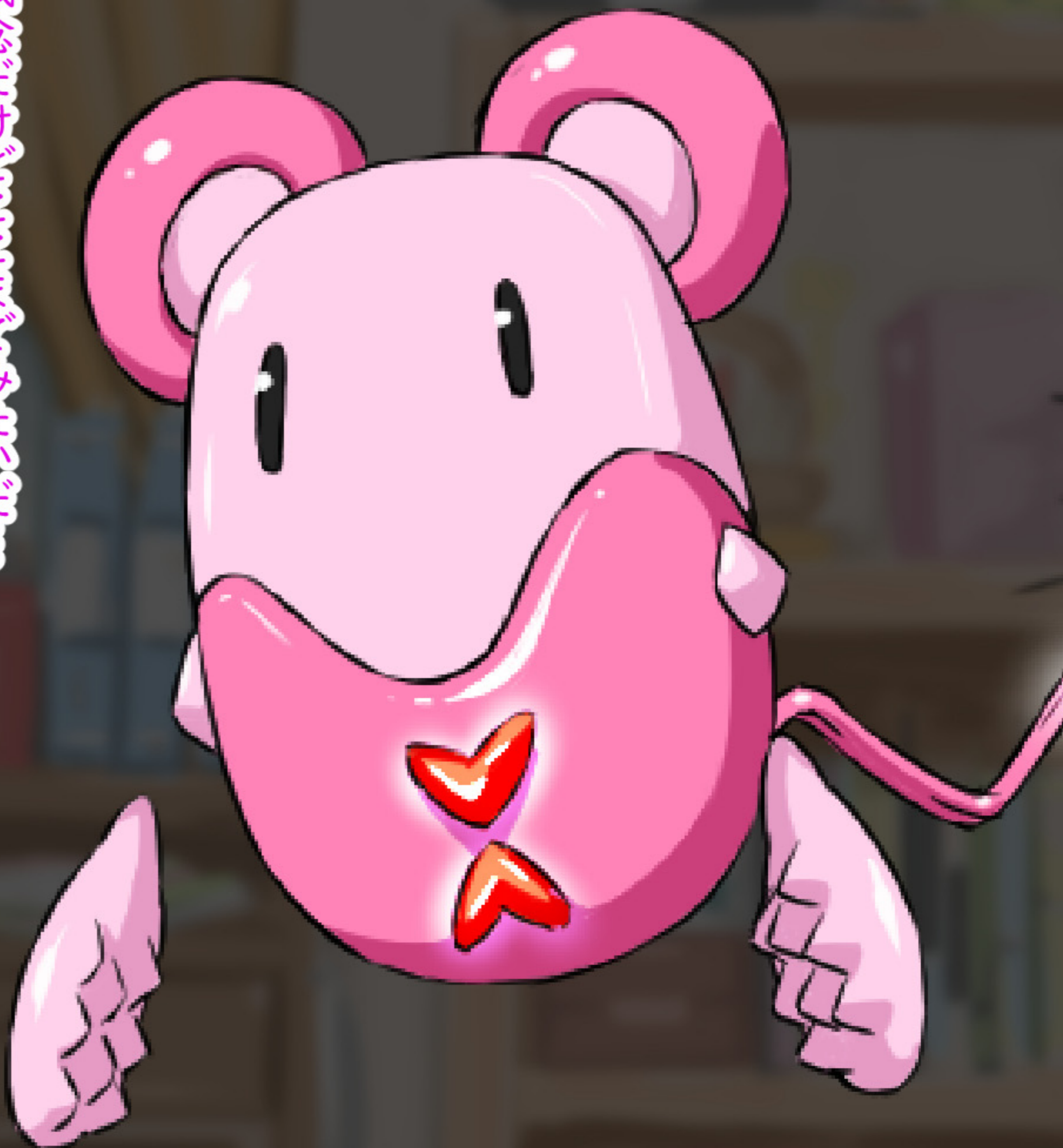


「早速現場に急行だ！シャイニングワープ!!」

「おい！ちよっとお——」



まばゆい光があたりを包む！私どうなっちゃうの？



「残念だけどここまでみたいだ…」

続きを見たいなら君の力おかねが必要だ！

君に再び会えることを楽しみにしているよー！」

